

感染性心内膜炎

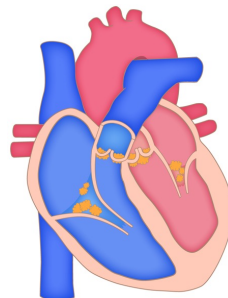
かんせんせいしんないまくえん
IE (Infectious Endocarditis)

目次

1. 感染性心内膜炎とは？
2. どんな人がかかりやすい？
3. 感染性心内膜炎にならないためには？
4. 感染性心内膜炎の症状は？

1. 感染性心内膜炎とは？

心臓の中で、血液の流れが悪いところや、手術で使った人工血管・弁などに菌のかたまりができて、高熱が続く、菌のかたまりが脳や肺などに詰まる（脳梗塞、肺梗塞など）、菌が弁や血管を壊してしまう、などを引き起こす病気を「**感染性心内膜炎**」といいます。時に長期間の入院や、命にかかわるような大手術が必要になることもある、恐ろしい病気です。



2. どんな人がかかりやすい？

心臓に異常のない人でも感染性心内膜炎になることはありますが、以下のような人は特に**リスクが高い**と言われています。

感染性心内膜炎のリスクが高い人

- 心臓や血管に人工物（人工血管、人工弁など）が入っている人
- 心臓に穴があいたままの人（心室中隔欠損、動脈管開存）
- チアノーゼがある心臓病の人
- （上のリスクに加えて）アトピー性皮膚炎のある人

そして、**血液の中に菌が入るきっかけとして一番多いのは「虫歯」**です。口の中には常に菌がたくさんいるので、歯医者さんでの血が出る処置（虫歯を削る、歯石を取る、抜歯をするなど）をする時に血液の中に菌が入ることがあります。また普段から虫歯や歯周病を放置していても、血液の中に菌が入る原因になります。

虫歯以外でも、何かの手術をする時や出産時は、上記のリスクがある人は感染性心内膜炎になるリスクが高いため、必ず担当医に伝えてください。それ以外にも、ピアスやタトゥーも感染性心内膜炎の原因になるため、避けてください。

心臓病の人は
歯が大事！



ピアスやタトゥーは
しないようにしましょう



3. 感染性心内膜炎にならないためには？

恐ろしい「感染性心内膜炎」を予防するために大切なことは3つです。

1. 虫歯にならないように、毎日きちんと歯磨きをする。
2. 定期的に歯医者さんにかかってチェックをしてもらう。
3. 歯医者さんで治療をする前、病院で手術を受ける前や出産する前に「心臓病で手術をしたことがある」と必ず伝える。

4. 感染性心内膜炎の症状は？

感染性心内膜炎にかかると、咳やくしゃみなどの風邪の症状がないのに、38℃以上の熱が続き、抗生剤や解熱剤で一時的に下がっても、飲みやめるとまた熱が出ます。特に、前に説明したリスクの高い人に含まれる場合は、このような症状があれば早めに病院に行き、自分のリスクについて（心臓の手術後であることなど）、原因として考えられること（最近抜歯をした、手術をした、虫歯があるなど）を医師に必ず伝えてください。

3日前から38℃以上の熱が続いています
最近、抜歯しました
小さいころに心臓の手術をしました



ふむふむ
感染性心内膜炎かも
しれないですね



本ホームページは以下の研究費により運営されてます。

厚生労働省科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）
「先天性心疾患を主体とする小児期発症の心血管難治性疾患の生涯にわたる
QOL改善のための診療体制の構築と医療水準の向上に向けた総合的研究」